

女性社員訪問⑨ 私たちはいま

▼周りに感謝しながら、みんなが円滑に動けるよう配慮していきたい、という森さん

森有紀子さん

プロフィール

1999年入社。経理業務補助、遊技機売買に係る各種書類作成サポートからスタート。2007年のパチスロ4号機撤去に伴う中古遊技機の取引増大や、2010年の中古機流通の新スキーム運用開始により申請書類や手順が増加したが、これらの変化にもきめ細かい配慮を加えていち早く対応。同社事務方の中心的存在。実母と夫の絶大な協力を得ながら2児を育てる母でもある。主任



仕事は複雑化してもやりがい 営業マンをしっかりとフォロー

子供抱えての中途採用

—森さんはどんな感じでお仕事されているんでしょう。

森 私は2人の子供を抱えての中途採用なのですが、入社当時、年上の先輩女性社員に「会社に来る

のは楽しい」と言ったことがあつ

たんです。だって、子どもはご機嫌で保育園に行くし、私も時間まがれるし、そんな答えをしたらねー」と言われてしまっってびっくり

したことがあります。

私は営業マン（取扱主任者）が、ミスなく書類作成ができるように、必要書類など様々な手配や確認作業をしています。その準備には相当なプレッシャーがあります。逆に、営業マンが作成した正確な書類が無ければホール様は開店できないのだから、と思うと責任感や「やりがい」と言ったら大げさかもあるかと思いますが、私の仕事に意味があると思えるんです。

—仕事大好き宣言ですね。

森 実際やっているのは営業マンのサポートなので、そんなにだいたいそれたことはしていませんが、本当に会社は楽しく、この仕事が好きなんです。

書類整備など様々な作業

—御社は北海道をベースにした遊技機の販売会社、とざっくり捉えています。お仕事の内容を知っているようでよく知らないな、と今回改めて思いました。

森 ああ、そうかもしれませんね。あまり外に表現する会社ではないので…。

—私は新台と中古機を取り扱っておられる、くらいの理解しかできていません。

森 遊技機は売買時に書類が必要

ですし、中古機でしたらさらにいくつかの手順を踏まなくてはなりません。そうした書類関係を整えたり、細かな手順に対応したり、必要に応じては遊技機の設置、新機種の見本機の手配など、ホール様とメーカー様をスムーズにつなぐための様々な作業を行っているイメージを描いていただくと良いと思います。

さらに、中古遊技機の買い付けやその後の手配などもありますし、仕入れて納品したらお仕事完了ではないですね。その前後左右に起こる様々な事柄に対して臨機応変にご提案したり、ホール様の利便性を高めることも当社の役割のひとつではないかと考えています。

—営業の方は、いろいろな状況に対応する柔軟さが必要なんですね。

森 そうですね。ですから私たち内勤の事務員は、営業マンが外での営業に集中できるように、それ以外のことは全部やろうと動いていきます。一言でいえば「雑用」としか言いようのないいろいろな事がありまして、それを営業マンが一人でやろうとしたら、営業に行く時間がなくなっちゃいます。もちろん私の業務の最優先事項は、営業マンが行う中古遊技機の買い付けから書類作成までの全般的な

準備なのでそちらを優先させますが、それ以外は営業マンのフォローを先行させるようにしています。

横の繋がりを強化し

——それは森さんお一人でやっているのですか？

森 いえ、当社には5人の女性メンバーがいて、そのうちの2人は経理専任、あとの3人が営業のフォローをしています。

——どんな役割分担になっているのですか？

森 今年の4月から体制を変えて、横のつながりを強化することになりました。それまでは、私一人がパチンコ機を担当し、パチスロ機や中古機販売課は他のメンバーというふうな役割をはっきりと分けていたのですが、それでは横の情報がかからないですね。

中古機の書類はほとんど複雑化していますし、移動件数は本当に増えていますから、私たち事務員も営業マンもほとんど時間がタイトになってきています。そんな状況なのに営業マンが聞きたいことがあっても担当者がいないのでわからなくて、次の行動ができない、という場面に会って、それは不便だし時間の無駄を感じました。



▲定年までこのままだけのかな、と笑い合うチームワーク抜群の皆さん。この写真も皆さんでセレクトした

すぐに答えられるようにしてあげないと、フォローの意味がないなと。そこで、事務メンバーみんな、全てのサポート業務を経験し、お互いの仕事内容を理解できるようにしました。

話しやすい上司ばかり

——やってみていかがですか？

森 それぞれのサポート業務はまったく別ではなく、共通する部分もありますから、お互いの仕事を把握していると、よりスムーズにいく感じがしています。パートさんが担当していたセクションもこれまでより複雑となり大変になったので、仕事量の調節をするためにも共有したのはよかったです。パートさんにはできるだけの定時で帰ってもらえるようにしたいので、責任の部分も含めて軽減できるように配慮した仕事の分配をしているつもりです。

(株) サッポロユウキ

1982年12月に設立。北海道を中心に遊技機(パチスロ・パチンコ)の新台幣販売および中古遊技機の売買を行う。

——こうした体制の変更は皆さんが考えるのですか？

森 当社は全員で19名という規模ですから、仕事が円滑に進むようにお互いの顔を見て自分の行動を決めることができます。社長も常務も私たちの話をいろいろ聞いてくれますし、相談もしやすいので、そういうコミュニケーションの中から指示を待つというより、事務メンバーがいろいろ工夫しながら合議制のような形で進めることの方が多いと思います。だからすごく仕事はしやすいですね。しゃべりづらい上司のような人は誰もいないです。それは私たちが年を重ねてきたからかもしれませんが(笑)。

産休でも会社が対応

——怖い上司はいない、と(笑)。

森 私は入社して15年と、女性の中では最も社歴が長くなりましたが、今一緒に働いているメンバーには恵まれたなと思いますね。働くなら気持ちよく働きたいですし、上下関係だのなんだのはない方が働きやすいと思っているので、私が女性メンバーの中でリーダーシップを取る、という考え方はない

です。5人中4人が40代、産休明けのメンバーがアラフォーなので、年が近いせいかな、わかりあっている、という感じがありますね。そういう信頼関係がお互いの中にあるので、より良く会社が回っているための働きかけはみんな考えているようになっていきます。

——なんだか理想的な会社ですね。森 昨年には当社初の産休・育児の取得が実現したんですよ。法定以上の規定はなかったけれど、当人の「働きたい」という気持ちに会社が対応してくれたんです。フォローすることになる私たちも、彼女にはぜひ戻ってきてほしいだったので、どうぞどうぞお休みとってくださいと。

日頃から常務は、小さい会社だからこそ臨機応変に対応してみんなで作っていかないとだよ、とおっしゃるし、私たちもその気持ちに伝えて責任感を持って仕事をしています。今後営業マンをバックアップするためにいろいろ考えてやっていたらな、と思っています。私自身は長く働きたいと思いますが、同世代のチームワークが良いから、みんな定年までずっとこの調子でいってしまいかも、と言いつつ合っています。

(構成) 広報調査委員会 佐藤聖子